

# 三條新聞社杯争奪 県央地域選抜少年野球大会2022 開催要項

## 大会趣旨

県央地域市町村の児童を対象に、野球というスポーツを通じて心身の健全育成を図るとともに、本地域における野球技術の向上と参加児童同士の友情を育むことを目的に実施する。

さらには、参加児童のみならず、その家族のコミュニケーションの輪を広げ、本地域の将来における健全な発展に寄与することを目的とする。

- 1 主催 県央スポーツネットワーク
- 2 協賛 (株)三條新聞社
- 3 後援 三条市・燕市教育委員会・加茂市教育委員会  
田上町教育委員会・弥彦村教育委員会
- 4 主管 県央少年野球大会実行委員会
- 6 会場 三条パール金属スタジアム（全日程）※アップ会場については別に定める。
- 7 大会日程 令和4年7月30日・7月31日（土・日）  
代表者会議 大会1日目 午前7時30分～ 会議室  
試合開始 大会1日目 午前8時30分～（球場開門 午前7時）  
大会2日目 午前8時30分～（球場開門 午前7時30分）  
注1）その他日程等については別紙のとおりとする。  
注2）雨天の場合の大会日程等については、後日協議の上決定する。  
注3）当日の開催の有無については、午前7時に大会役員で協議の上決定する。また、県央地域に新型コロナウイルス感染者が発生した、または行政から指示等があった場合の開催可否の判断は主催者側で行う。  
☆当日の問い合わせ先 三条パール金属スタジアム（0256）32-8911
- 8 出場資格 県央地域市町村の小学校に在籍する児童で編成するチーム及び主催者が認めた特別参加チーム。  
ただし、硬式ボールを使用する団体に登録されている選手は参加できない。  
スポーツ安全保険に加入し、自チームで健康管理・安全管理ができるチーム。
- 9 出場チーム 県央地域市町村の各スポーツ協会から推薦されたチーム（9チーム予定）
- 10 チーム編成 ①1チーム、選手は20名以内とする。  
②監督、コーチ、主将の背番号は下記のとおりとする。  
監督30番、コーチ28・29番、主将10番  
③上記のほか、代表者、スコアラー、マネージャー、健康管理員、安全管理員各1名のベンチ入りを認める。  
④監督、コーチは出場選手と統一ユニフォームであることを原則とする。  
⑤監督は20歳以上（成人）とする。
- 11 試合方式 トーナメント方式とし、1位から3位までを表彰する。  
ただし、3位決定戦は行わない。

- 12 表 彰 優 勝：優勝杯、賞状、優勝メダル  
 準優勝：準優勝楯、賞状、準優勝メダル  
 第三位：賞状、第三位メダル  
 個人賞（最優秀選手賞1名、優秀選手賞1名）：賞状、盾
- 13 適用規則 2022公認野球規則に準じ、細部については本大会特別規則（別紙のとおり）を適用する。
- 14 参加料 1チーム10,000円 ※各市町村協会に取りまとめの上、お支払い下さい。
- 15 申込締切 令和4年7月15日（金）午後5時までとする。（期限厳守）
- 16 組合せ抽選会 日時：令和4年7月20日（水）午後7時～  
 兼開会式 会場：三条市栄体育館 多目的室1  
 （住所：三条市新堀2113番地 Tel0256-45-1150）  
**※出席者は監督・主将・6年生のみとする。**

- 17 申込み方法 参加費を下記にお振込みの上、メールもしくは郵送でご提出下さい。  
 様式は、三条市スポーツ協会ホームページからダウンロード可能です。

振込先：三条信用金庫本店 普通 8191751  
 名義：県央スポーツネットワーク 会長 中條 耕太郎

申込先：〒959-1153 三条市新堀2113 三条市栄体育館内  
 県央スポーツネットワーク 事務局 宛て  
 TEL:(0256)45-1150 FAX:(0256)45-1151  
 ホームページ：<http://www.sanjotaikyo.jp/>  
 E-mail: info\_sanspo@sanjotaikyo.jp

- 18 注意事項 ①感染症拡大予防対策により、以下に該当する場合は参加をしないこと。  
 ・体調が良くない場合  
 ※プログラムと同封する健康チェックシートの内容に従い判断すること  
 ※健康チェックシートは来場後、速やかに本部へ提出すること  
 ・同居家族等に感染が疑われる、もしくは濃厚接触が疑われる方がいる場合  
 ②マスクを持参し、競技に参加していない時はマスクを着用すること。
- 19 観戦・応援 保護者の観戦・応援についての状況は以下の通りです。  
 ・観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦すること。  
 ・鳴り物や声を出す応援は禁止です。拍手で応援すること。
- 20 その他 ①JSBB感染予防対策ガイドラインをチーム内で共有すること。  
 ②主審は、燕市野球連盟で担当する。  
 ③塁審は、参加チームによる帯同審判員制とする。  
 ただし、決勝戦は主審及び塁審を燕市野球連盟で担当する  
 なお、塁審の服装については襟付き白シャツ、黒または紺のスラックス  
 及びスニーカーとする。  
 ④ボールボーイは対戦する両チームの大人から各2名をお願いする。  
 ⑤各チーム1名の大会運営協力員をお願いする。  
 一日目の集合時間は午前7時とし、最終試合が終わるまでとする。  
 二日目については勝ち上がった4チームから協力をお願いする。  
 集合時間は、午前7時30分とする。  
 なお、大会協力員は、グラウンド設営等を行う。  
 ⑤大会中は救護員が待機しておりますので、怪我及び体調不良の場合は、  
 本部へ申し出てください。  
 ⑥気候や災害等により大会本部から緊急連絡をする場合があります。  
 各チームの連絡責任者は必ず連絡が取れるようにしてください。

# 県央地域選抜少年野球大会 大会規則

## ☆試合方法及び大会規則

- (1) 競技規則は、2022年公認野球規則（特別規則を含む）に準じる。
- (2) 試合方法はトーナメント方式とし、6回戦または1時間20分（決勝戦は1時間30分）の時間制限試合とする。  
ただし、6回を終了するか、1時間20分（決勝戦は1時間30分）を過ぎても同点の場合は、タイブレーク方式を採用する。  
※タイブレークの方式は、無死1・2塁、継続打者とする。
- (3) コールドゲームは、3回以降10点差、5回以降7点差とする。  
ただし、決勝戦はコールドゲームを適用しない。
- (4) 各試合ともシートノックは行わない。
- (5) 1時間20分又は1時間30分の時間管理は、大会本部で行う。
- (6) 投球制限について  
投手の投球制限については、1日70球までとする。  
※本部でカウントしたものを公式球数とする。
- (7) 大会参加申込み締切後の選手変更は原則として認めない。ただし、疾病・傷病等の特別な事情があり、主催者がこれを承認した場合はこの限りでない。
- (8) サングラス着用については、全国軟式野球連盟の規則に則る。

## ☆試合上の注意点

- (1) 感染症拡大防止対策として、全選手が密集・密接する円陣や声出しは控えること。  
また、練習時やベンチ内においてもソーシャルディスタンスを確保すること。
- (2) 使用したベンチ・控室・観覧席・用具等の除菌作業をチーム内で徹底すること。
- (3) 監督及びコーチは必ずユニフォームを着用すること。背番号は監督30番、コーチ29番・28番、主将10番と統一し、選手は0番から27番までとする。  
また、グラウンド内には、不測の事態以外はユニフォームを着用した監督・コーチ・選手以外は入ってはならない。（アップ含む）
- (4) ベンチは組合せ番号の若い方が一塁側とする。
- (5) ベンチは定められた者（登録選手20名、監督1名、コーチ2名の他、代表者、スコアラー、マネージャー及び健康管理員、安全管理員各1名）以外に入ってはならない。  
※安全管理員とは、チーム内で主に新型コロナウイルス感染症対策について対応・指示し健康管理員と共に選手の健康を守ること。
- (6) ベンチ前は必ず整理すること。
- (7) 無用のタイムは取らないこと。なお、タイムはプレーヤーの要求したときではなく、審判員が宣告したときである。
- (8) 2回・4回終了時に5分程度の給水タイムを設ける。  
また、守備について20分経過した場合、給水タイムを設ける。
- (9) フェールボールは各位置のベンチ側で拾いに行くこと。
- (10) 攻守交代は駆け足で行うこと。
- (11) 守備側からのタイム中は、投球練習は許されない。
- (12) ボークについては、通常の手配とする。
- (13) 打者、次打者、走者及びベースコーチは必ず両側耳付きヘルメットを着用する。
- (14) 次打者はヘルメットを着用のうえ、次打者席に入っていること。
- (15) 走者はフェールボールの際は必ず帰塁すること。
- (16) 監督が投手の所に行く制限（規則5.10の項）を採用する。
- (17) 捕手はヘルメット、公認マスク、レガース及びプロテクター、ファウルカップを必ず着用すること。  
なお、投球練習時に控え選手が捕手をする場合も同様に防具を着用すること。
- (18) 抗議については監督及び当該プレーヤーとする。
- (19) 試合球は大会事務局で用意する。（ナガセケンコー J 号球(新)）
- (20) オーダー用紙は5部作成し、5部提出する。オーダー用紙の交換は、概ね前の試合開始30分後とする。
- (21) 大会中に発生した事故・障害等について、主催者は一切責任を負わないので、参加者は必ずスポーツ傷害保険等に加入し、各チームとも十分注意すること。